

館名	東広島市小谷地域センター
事業名	世界の(広島大学留学生)食文化交流会
趣旨	<p>○東広島市学園都市の利を活かし、日頃、外国人との交流が少ない小谷地区に留学生(院生)を迎え、外国の文化を共有し、多文化共生の意識を高めると共に地域活性化に向けた交流拠点づくり、及び、留学生が自由に訪れることができる居場所づくりの併用を目指す。</p> <p>○殆どの留学生は大学と学生アパート(自宅)の往復である。日頃から地域住民との関わりが少ない。地域イベント、生涯学習活動を通して地域との交流を深め、多様な日本文化、歴史、地域住民とふれ合いながら、より多くのことを学んでもらうことを目指す。</p> <p>○食は唯一、世界に通じるコミュニケーションであり、他国の食文化、歴史などを知る近道でもある。試食会を通して国際理解に取り組む。</p>
特徴	<p>○世界の料理と試食は初めての経験であり、各国(4か国)の料理に舌包みしながら、和やかな雰囲気の中での感想と意見交換は一層親しさが増す。</p> <p>○小学生の親子との交流は、留学生や参加者共に大変有意義な体験をすることができる。</p> <p>○日本独自の学びの場である生涯学習講座システムは外国には殆どないに等しいと聞いている。この交流会は留学生にとってかなりの刺激になり、この体験はそれぞれの祖国で、いろんな形で生かされる要因となる可能性を秘めている。</p>
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>多国籍留学生(院生) 参加留学生/ロシア、中国 モンゴル、フィリピンの方</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中国の焼小籠包 (やきしょうろんぼう) 児童に調理の手ほどき</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出来上がった料理 日本の味噌汁を含み 5品種の料理が出来上がる</p> </div> </div>
活動実績	<p><b>【実施期日】</b></p> <p>第1回 - 平成 29 年 12 月 9 日(土) 13 時 30 分～15 時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○レシピ内容について留学生(ロシア、中国、モンゴル、フィリピン)から説明</li> <li>○事前にレシピ内容はメール送信して頂き資料を作成する。</li> </ul> <p>第2回 - 平成 30 年 1 月 20 日(土) 9 時 30 分～14 時(後片付けも含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○祖国の料理によっては事前に下ごしらえが必要なレシピもある(フィリピン料理)</li> <li>○3組の親子の方が参加(6名) 留学生(4名) 職員(2名) 生涯学習課指導員(1名)</li> <li>○4品の料理 - 2班に分かれて料理づくりを始める</li> <li>○試食会は全員(13名)12時～13時頃まで、調理の仕方や味覚など会話しながら交流。</li> </ul>

活	<p>《レシピ5品》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ロシア料理 - ポテトとキノコのジャルコーエ</li> <li>○モンゴル料理 - ホーショール</li> <li>○フィリピン料理 - チキン・アドボ</li> <li>○中国料理 - 焼小籠包(やきしょうろんぼう)</li> <li>○日本料理 - 味噌汁</li> </ul> <p>第3回 - 平成30年1月25日(木) 8名参加 13時30分～14時30分</p> <p>○今回の交流会に関する良かった点, 反省点及び課題については話し合う</p>
動 実 績	<p><b>【事業費】</b></p> <p>食材費 - 8名×500円=4,000円</p> <p>謝金(留学生4名)12,000×4名=48,000円</p> <p>需要費 - 15,000円 <span style="float: right;">合計 67,000円</span></p> <p><b>【実施場所】</b></p> <p>○小谷地域センター, 厨房室(調理), ホール(試食会)</p> <p><b>【実施期間・団体等】</b></p> <p>○東広島市(生涯学習課)の地域活性化モデル事業の一環として取り組む(平成29年度助成金対象)</p> <p><b>【対象者及び参加者数】</b></p> <p>対象者 - 小学校親子参加希望者(募集チラシ配布) - 3組, 6名参加</p> <p style="padding-left: 2em;">厨房室(調理室)が狭い関係もあって募集は5組とするが結果的に3組となった。</p> <p>第1回 - 6名(レシピの確認と食材の準備, 予算金額などの打合わせ)</p> <p>第2回 - 13名(3組の親子が参加(6名) 留学生(4名) 職員(2名) 生涯学習課指導員(1名)</p> <p style="padding-left: 2em;">2班に分かれてレシピに沿って調理をする。</p> <p>第3回 - 8名 第2回まで実施内容をもとに反省会をする (問題点と課題について)</p>
成 果 と 課 題	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調理は子供が中心となり, 楽しく興味深く料理づくりが出来た。又, 衛生面などひとり一人が気を付けながら取り組むことができた。</li> <li>○特に食油を使用する料理が多くあったが, 火傷, 包丁での切り傷もなく無事終わる事ができた。</li> <li>○日本食とは違い, 子供たちが好きそうな料理なのでとても満足していた。</li> <li>○来日1～2年の短期間なのに日本語がとても堪能で, 会話には違和感もなく交流を深めることができた。</li> <li>○レシピ内容は, 留学生が写真入りで食材, 調味料等を詳しく日本語で明記したものを作成してくれたおかげで大変助かった。対応に敬服した。</li> <li>○試食会は, 交流が深まる場となり, 食感, 味覚, 出来上がり状況など意見が飛び交い楽しいひと時となった。より一層親しみが増した。</li> </ul> <p><b>【反省点及び課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施日が学校の行事とその都度重なり3度も先送りとなった。</li> <li>○結果的に寒い時に実施する事になり, 感染症によって参加出来ない親子がいた。</li> <li>○初めての試みでもあり事前に調理の準備も必要だが, 予算的に難しい面もある。</li> <li>○募集しても参加が少ない。外国人との交流ということで躊躇する面もあると思われる。日頃から外国の方が自由に出入りできる地域拠点づくりが必要。そのためには小学校, PTA, 地域住民, まちづくり協議会の理解と協力が必要不可欠である。</li> </ul>

<p>成 果 と 課 題</p>	<p><b>【運営した感想】</b>  <b>(工夫したこと)</b>  ○この交流をきっかけに、より充実した交流を図るため、次年度の新規講座で地域住民を取り込み、新たな方法で交流が図られるようなアイデアが考えられる。  ○多国籍の交流を通して、国が違えば歴史、文化など全てものが異なるが、見方、考え方を少し変えれば多くのアイデアが生まれてくる。</p> <p><b>(相談したいこと)</b>  ○助成金の確認。⇒県・国の助成を利用したい。  ○外国の地域コミュニティで学べる学習センターの存在の有無など。</p> <p><b>(嬉しかったこと)</b>  ○留学生は、目的と目標をしっかりと持って来日している。日本語は事前に勉強されており、会話には違和感もなく自然体で交流することができた。</p> <p><b>(今後の希望)</b>  ○これらのことをベースに新たな講座（国際理解）企画し、留学生から外国の多様な文化を学び、留学生に通訳になってもらい、外国を訪問する研修旅行を2～3年後には実施に向けた計画を立案する。  ○一昨年から取り組んでいる交流事業は、少しずつ成果が上がっており、次の段階にステップするためにアイデアを模索し地域に相応しい講座を目指したい。</p>
<p>連 絡 先</p>	<p>小谷地域センター  〒739-2121 東広島市高屋町小谷 5560  電話, ファクシミリ 082-434-3758  電子メール Kodani - k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp</p>